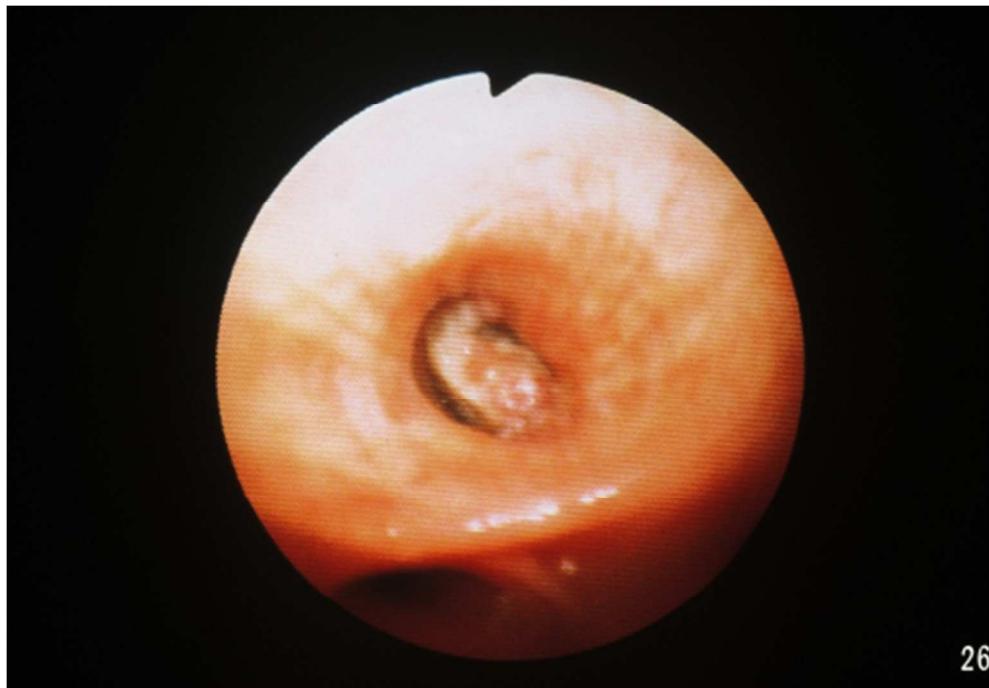


# 気管支鏡所見

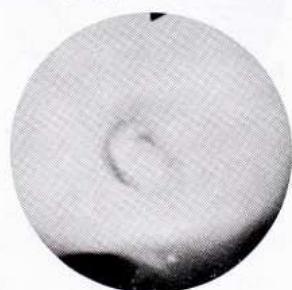
## 早期肺がん編

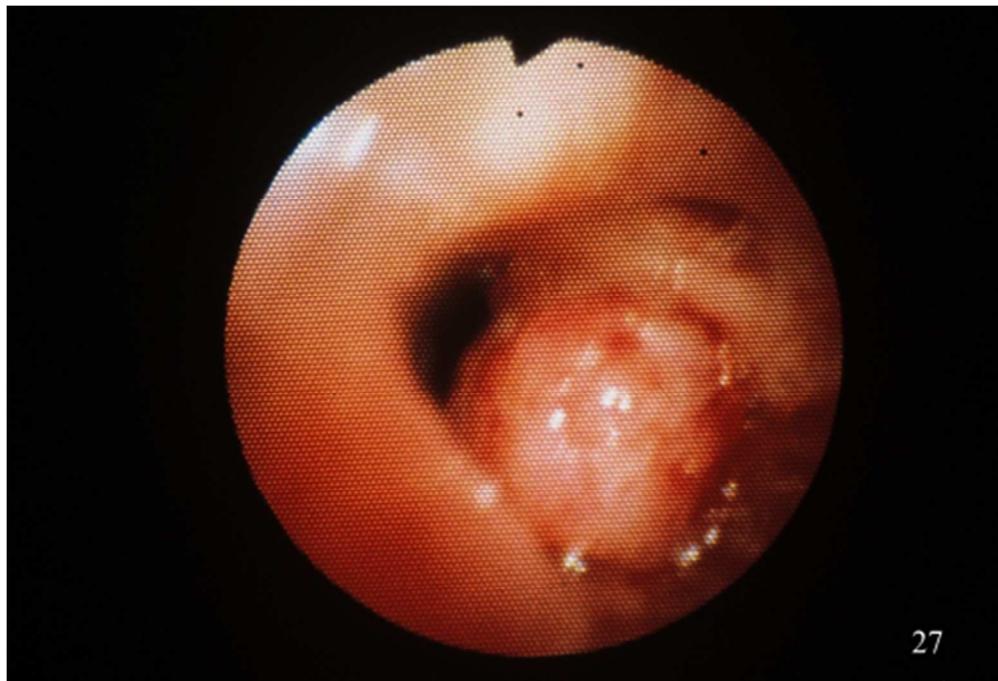


26

スライド 26 79 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、50 年間。

症状：喀痰、咳。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診で発見された。右 B<sup>3</sup> の亜区域支分岐部に発生した polypoid tumor, 扁平上皮癌。一部壊死を伴った表面不整（凹凸）腫瘍で、一部気管支壁にも浸潤している。腫瘍径は約 3~4 mm 大。（スライド 12 と対比）

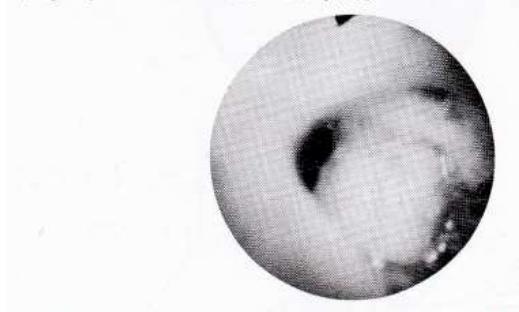


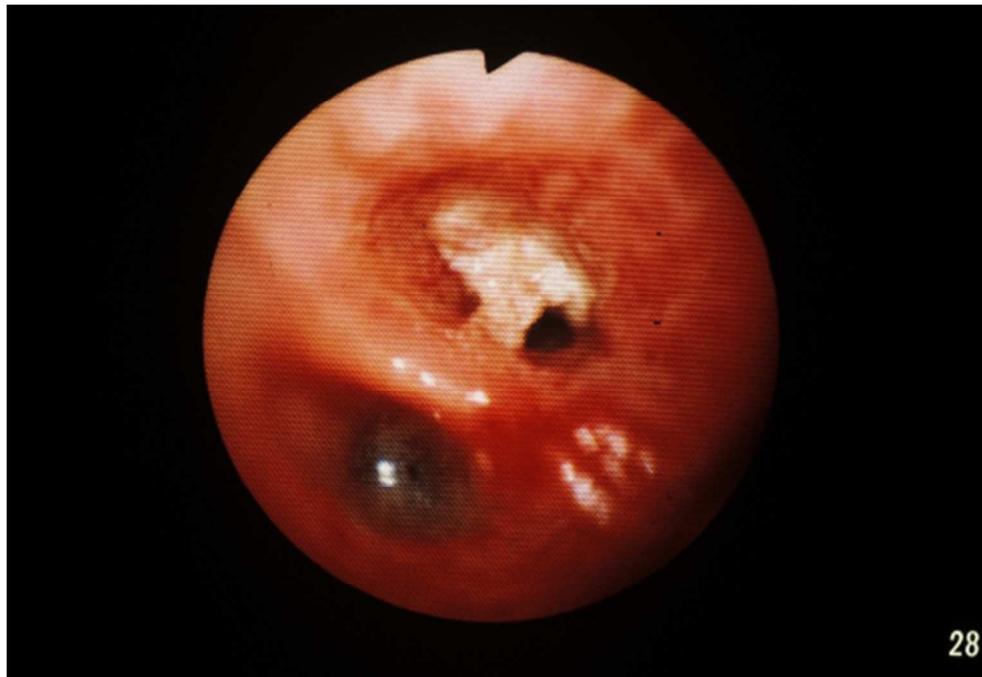


27

スライド 27 79歳、男性、喫煙歴 30本/日、40年間。

症状：咳、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診で発見された。左 B<sup>10b</sup> に発生した polypoid tumor で扁平上皮癌。腫瘍径 3~4 mm。顆粒性に水腫様（透明）所見を呈し、不整表面を示す。周囲気管支粘膜には浸潤はない。4 mm のファイバースコープで観察した。（スライド 10 と対比）

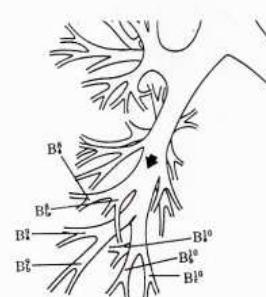




28

スライド 28 58 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、31 年間。

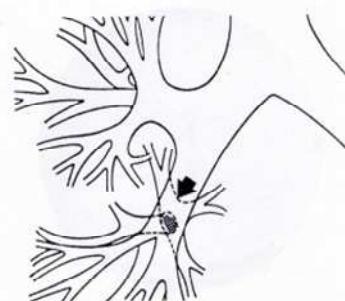
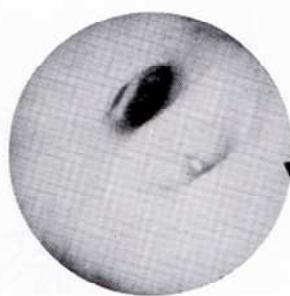
症状：咳、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診により発見された。左  $B^3$  に polypoid tumor を認める。 $B^3$  は、腫瘍による狭窄を示している。扁平上皮癌で、壊死を伴い、顆粒状に不整表面を示す。(スライド 12 と対比)





スライド 29 71歳、男性、喫煙歴 20本/日、50年間。

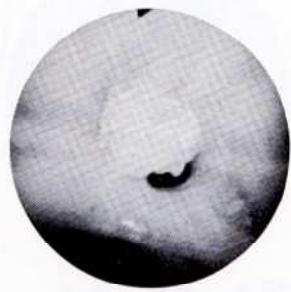
症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。右 B<sup>6</sup> を閉塞する扁平上皮癌である。顆粒状に水腫様（透明）所見を呈する。周囲気管支への浸潤はみられない。腫瘍径は 4~5 mm 大。（スライド 8 と対比）





スライド 30 54歳、男性、喫煙歴 20本/日、30年間。

症状：咳、血痰。クロム被爆。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。右B<sup>8</sup>、B<sup>9</sup>分岐部に発生した polypoid 腫瘍。一部に壊死を伴いつつ小結節状に増大した腫瘍。B<sup>9</sup>を閉塞し、B<sup>8</sup>は、わずかに開口している。腫瘍径 6~7 mm 大。扁平上皮癌。中枢側への気管支壁浸潤はみられない。(スライド 12, 13 と対比)

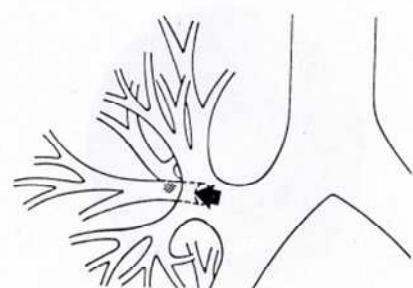
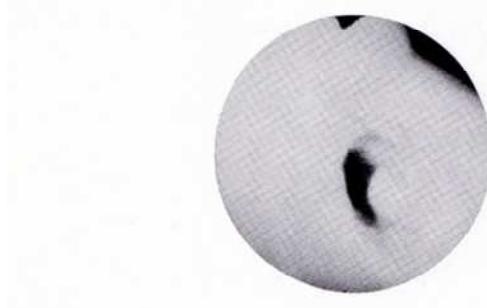




31

スライド 31 74 歳、男性、喫煙歴 30 本/日、50 年間。

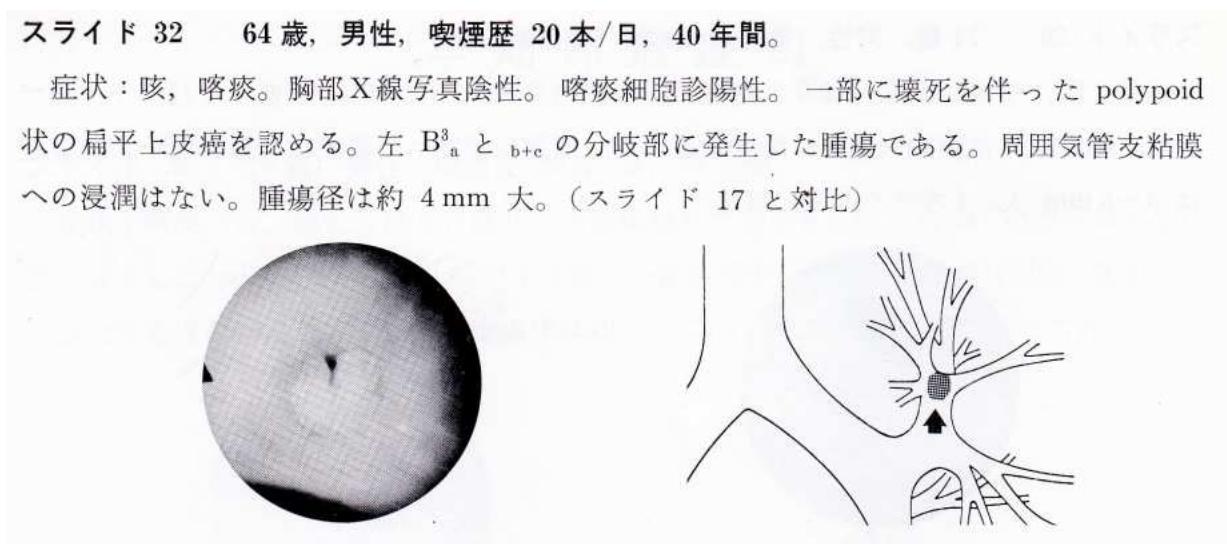
症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。右 B<sup>2</sup> に発生した腫瘍径約 2 mm 大の polypoid の扁平上皮癌。(スライド 25 と対比)





スライド 32 64 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、40 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。一部に壊死を伴った polypoid 状の扁平上皮癌を認める。左  $B^3_a$  と  $b+c$  の分岐部に発生した腫瘍である。周囲気管支粘膜への浸潤はない。腫瘍径は約 4 mm 大。（スライド 17 と対比）

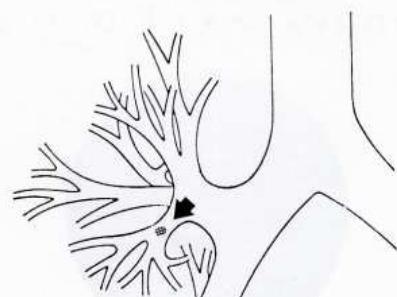
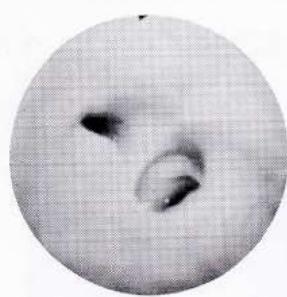




33

スライド 33 81歳、男性、喫煙歴 20本/日、60年間。

症状：咳、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陰性。右 B<sup>3</sup> の亜区域分岐部手前に腫瘍径 3 mm 大の腫瘍を認める。表面は比較的平滑である。扁平上皮癌である。（スライド 7 と対比）

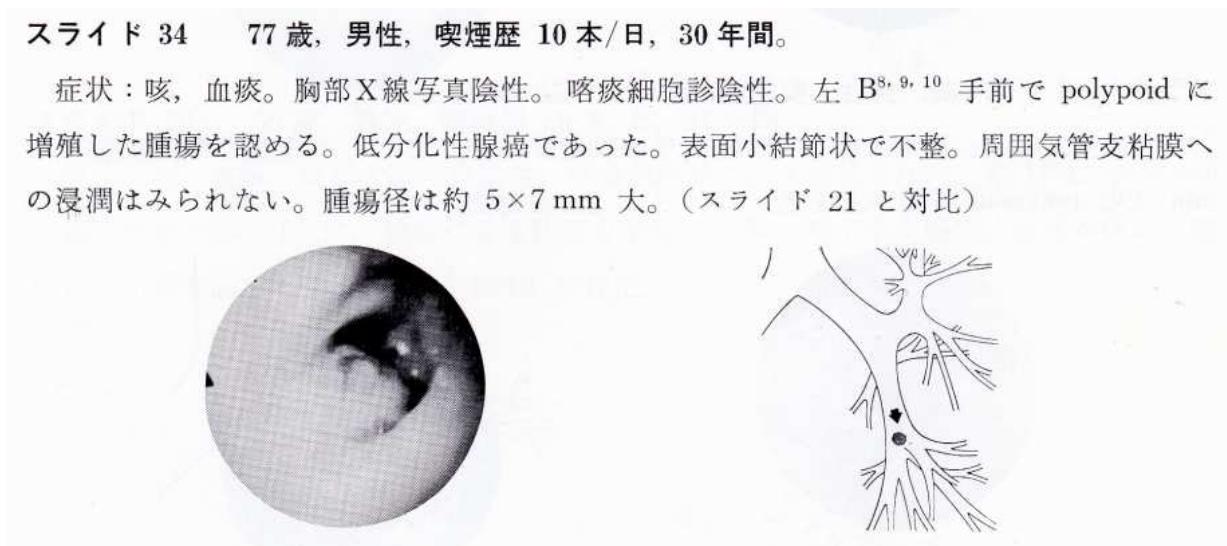


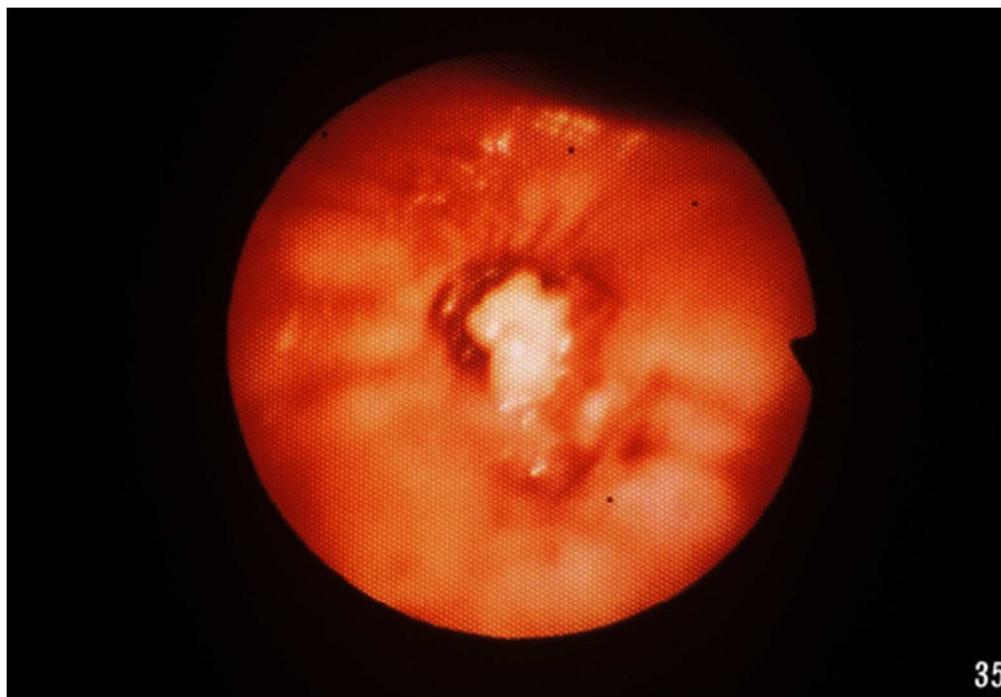


34

スライド 34 77 歳、男性、喫煙歴 10 本/日、30 年間。

症状：咳、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陰性。左 B<sup>8, 9, 10</sup> 手前で polypoid に増殖した腫瘍を認める。低分化性腺癌であった。表面小結節状で不整。周囲気管支粘膜への浸潤はみられない。腫瘍径は約 5×7 mm 大。（スライド 21 と対比）

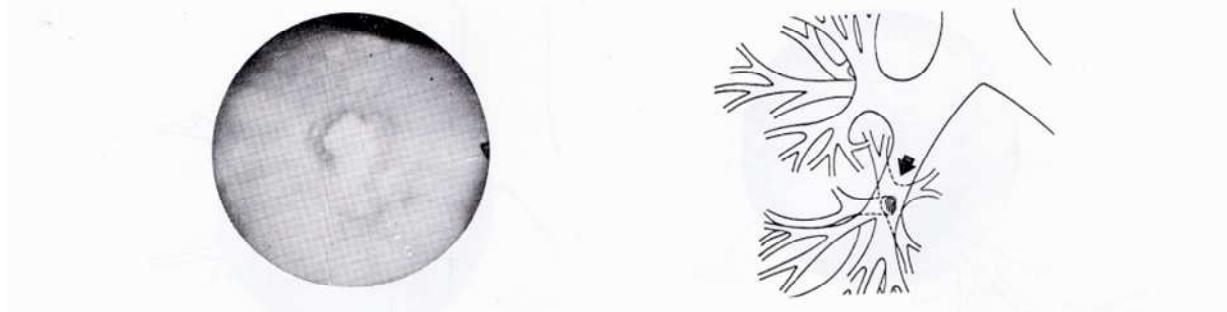


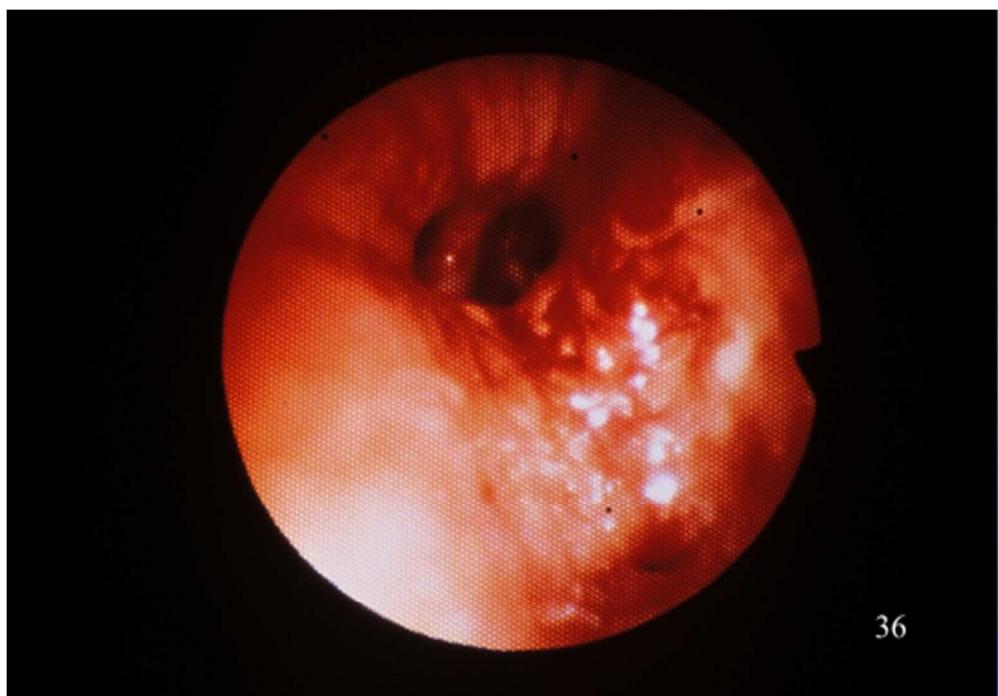


35

スライド 35 55 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、35 年間。

症状：咳、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陰性。右 B<sup>6</sup> 入口部の分岐部に発生した壞死物質を伴った小結節状増殖性腫瘍。腫瘍径は約 4 mm である。B<sup>6</sup> 分岐入口部は腫脹しており、腫瘍の浸潤を考える。扁平上皮癌であった。(スライド 8 と対比)

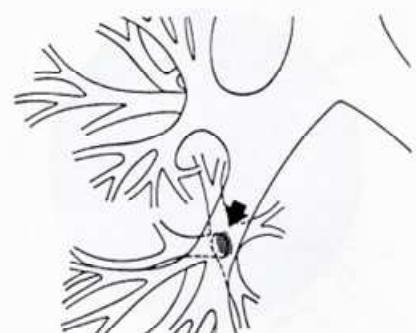




36

### スライド 36

スライド 35 の症例の近接所見。polypoid の腫瘍は組織生検で消失した。B<sup>6</sup> 部高度に腫脹し、不整である。B<sup>6</sup> 入口部は高度に狭窄している。周囲粘膜への浸潤がある。B<sup>7</sup> 分岐部の粘膜も肥厚している。扁平上皮癌である。（スライド 8 と対比）

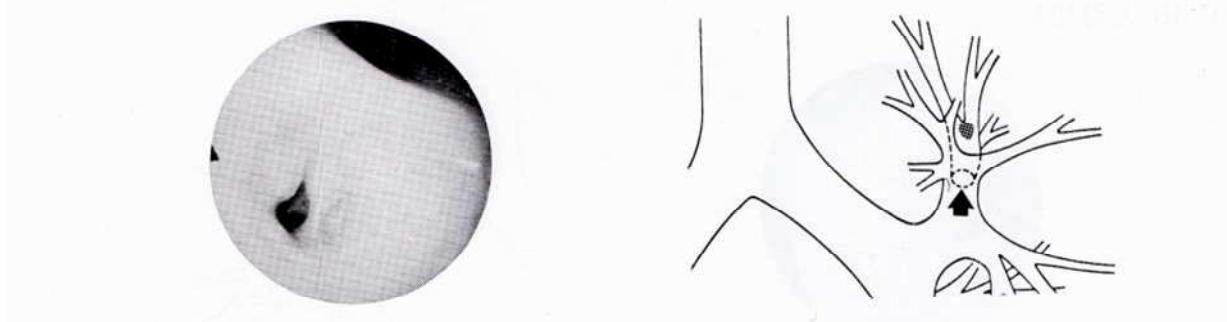




37

スライド 37 62 歳、男性、喫煙歴 40 本/日、42 年間。

症状：喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左  $B^{1+2}_{a+b}$  入口部に隆起性の腫瘍を認める。表面は比較的平滑である。腫瘍径は 4 mm 大である。扁平上皮癌である。（スライド 16 と対比）

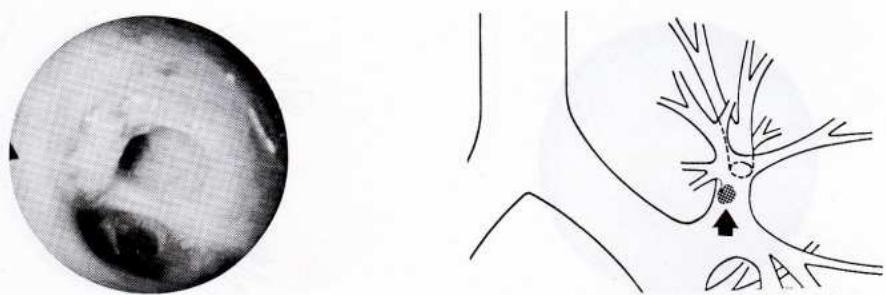


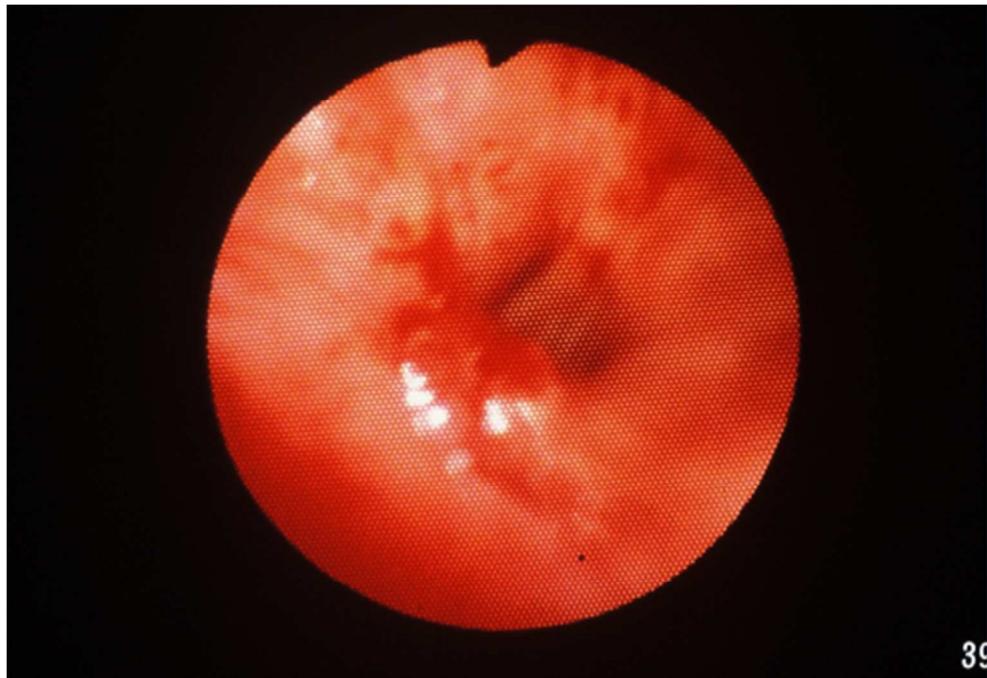


38

スライド 38 72歳、男性、喫煙歴なし。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上区から見た所見である。腫瘍は左B<sub>3</sub>入口部が隆起性に増大しており、表面には水腫様（透明）所見がみられる。易出血性である。腫瘍径は4~5mm大である。扁平上皮癌である。（スライド17と対比）

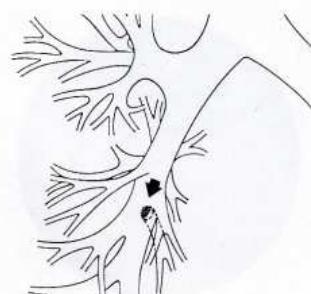
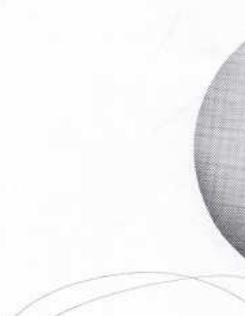




39

スライド 39 78 歳、男性、喫煙歴 30 本/日、50 年間。

症状：咳、喀痰、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。内視鏡的には右 B<sup>7</sup> の分岐部が隆起性に膨隆しており、易出血性である。扁平上皮癌である。周囲気管支粘膜への浸潤がみられる。（スライド 11 と対比）

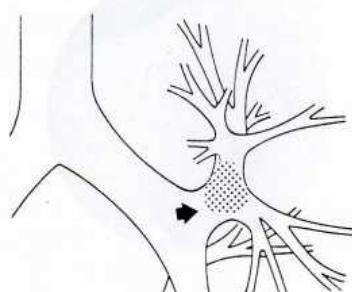
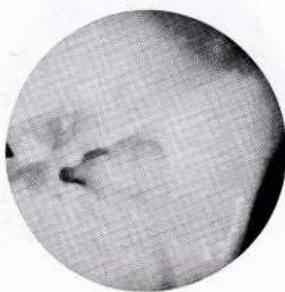




40

スライド 40 68歳、男性、喫煙歴 20本/日、45年間。

症状：喀痰、咳。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上葉支に発生した肥厚隆起状の扁平上皮癌。上下分岐部での縦走襞がわずかに確認できる所以外は上葉支全周性に浸潤しており、管腔の狭小がみられる。浸潤巣は上区支の方向へと連がりを呈する。（スライド 16 と対比）





41

スライド 41 69 歳、男性、喫煙歴 10 本/日、50 年間。

症状：咳、喀痰、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上葉支に発生した白色顆粒状結節浸潤を示す扁平上皮癌。浸潤巣は上、下分岐部を越えて下葉支、主気管支へ広がる。わずかに膜様側の縦走襞の確認できる部分が正常粘膜である。（スライド 15 と対比）

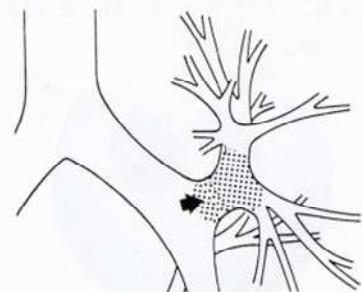
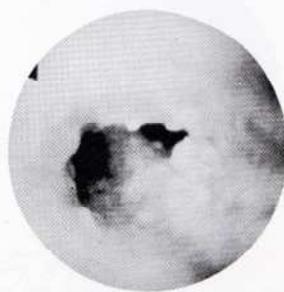


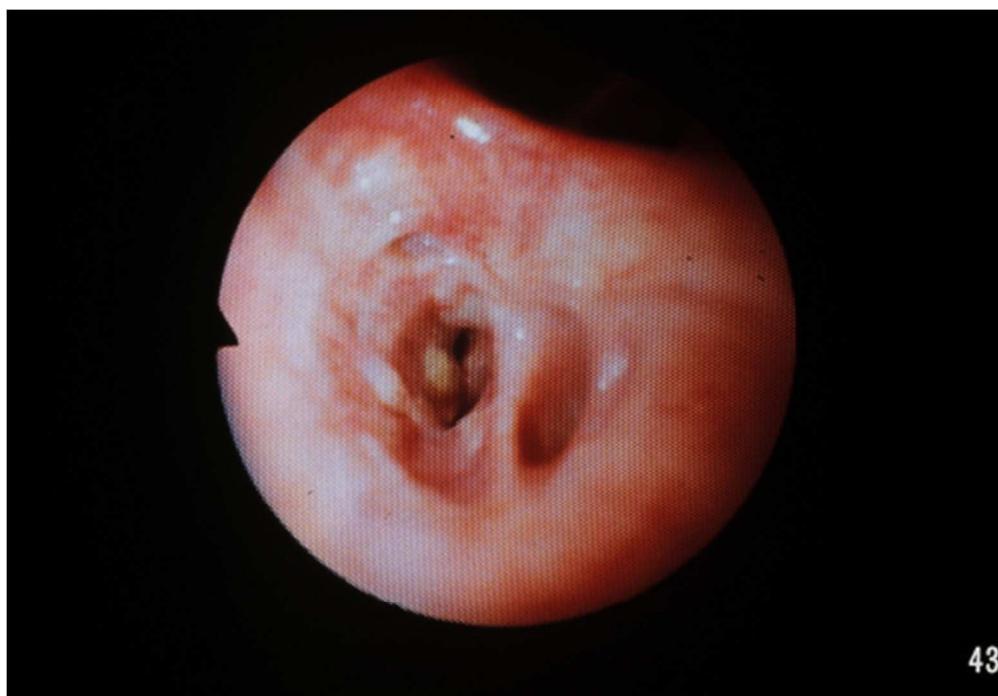


42

#### スライド 42

スライド 41 の症例の上葉支の所見。白色顆粒状結節の浸潤が舌支、上区支への方向へ連続性にみられる。正常粘膜はこの視野には観察されない。(スライド 16 と対比)

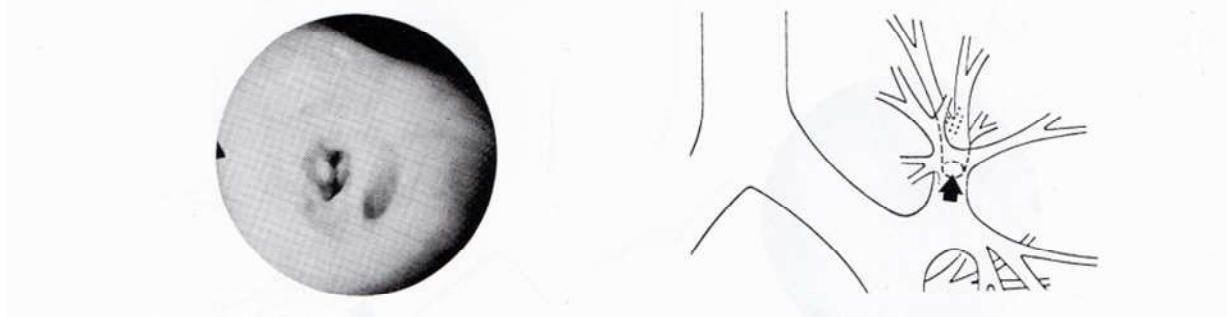




43

スライド 43 62歳、男性、喫煙歴なし。

症状：呼吸困難、咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左  $B^{1+2}_{a+b}$  に白色顆粒状結節腫瘍を認める。病巣部位では縦走襞は明瞭でなく、腫瘍の浸潤が疑われる。管腔はやや狭小を示している。（スライド 17 と対比）

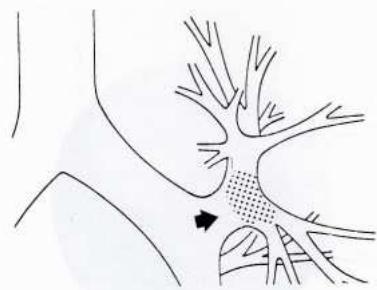


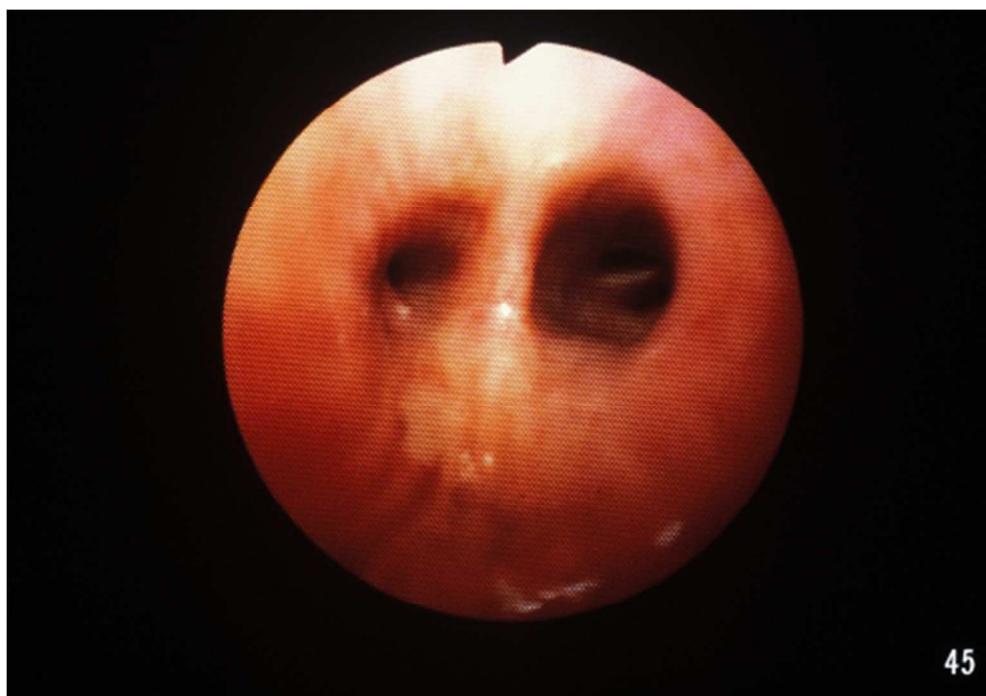


44

スライド 44 68 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、48 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上葉支に発生した白色顆粒結節性浸潤を示す扁平上皮癌。この視野内には正常粘膜はみられない。上区支と舌支との分岐部の開大、光沢の消失、肥厚が所見である。(スライド 16 と対比)

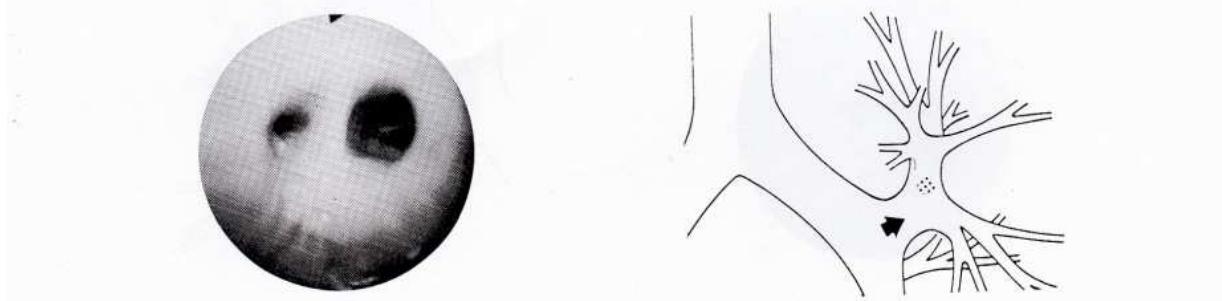


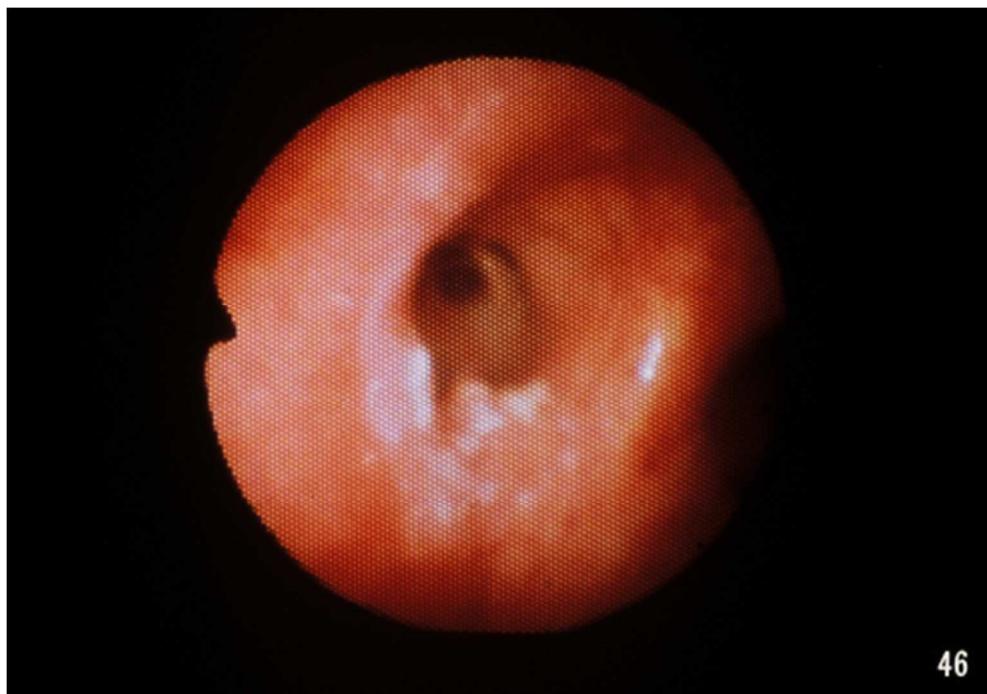


45

スライド 45 58 歳、女性、喫煙歴 20 本/日、38 年間。

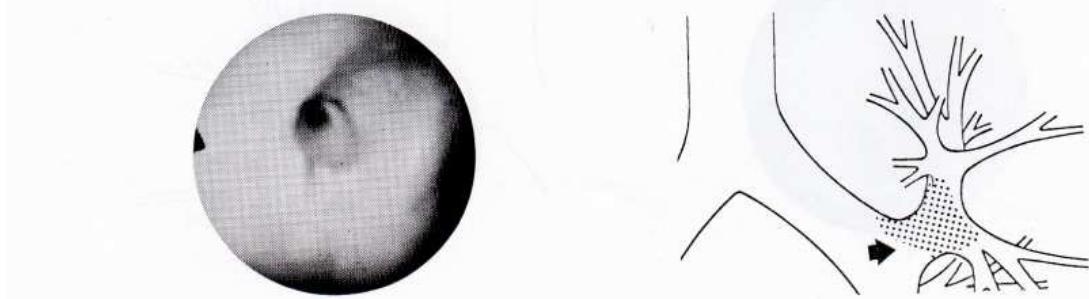
症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診 Pap. class III（偽陽性）。左上区支の白色顆粒状結節と粘膜肥厚、管腔狭小がみられる。舌支・上区支分岐手前の白斑部分は縦走襞を断裂している。この部分の生検は扁平上皮癌であった。分岐部の粘膜肥厚は扁平上皮化生であった。（スライド 16 と対比）





スライド 46 49歳、男性、喫煙歴 40本/日、30年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上葉支に発生した白色顆粒状結節による腫瘍がみられる。浸潤は上葉支の前壁をのぞいてほぼ全周性にみられ、中枢側の主気管支まで及んでいる。光沢の消失、上下分岐部の肥厚もみられる。(スライド16と対比)





47

#### スライド 47

スライド46と同症例。左上葉支内からの所見。膜様側の結節が大きい。白色顆粒状結節が点々とみられる表層浸潤性の扁平上皮癌が、舌支と上区支へと連続性に広がっている。  
(スライド 16 と対比)

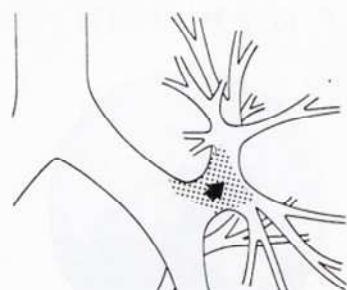




48

#### スライド 48

スライド 46, 47 と同症例。舌支と上区支との分岐部手前から観察した所見。分岐部は開大し、肥厚している。上区支への浸潤、舌支への表層肥厚性浸潤がみられる。

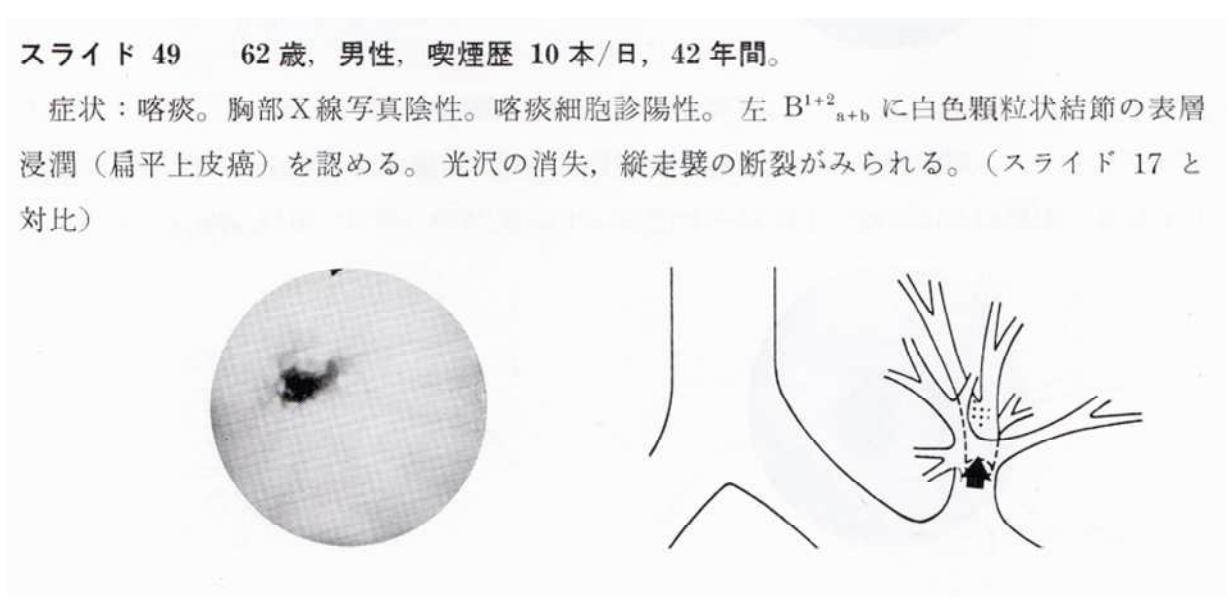




49

スライド 49 62 歳、男性、喫煙歴 10 本/日、42 年間。

症状：喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左  $B^{1+2}_{a+b}$  に白色顆粒状結節の表層浸潤（扁平上皮癌）を認める。光沢の消失、縦走襞の断裂がみられる。（スライド 17 と対比）

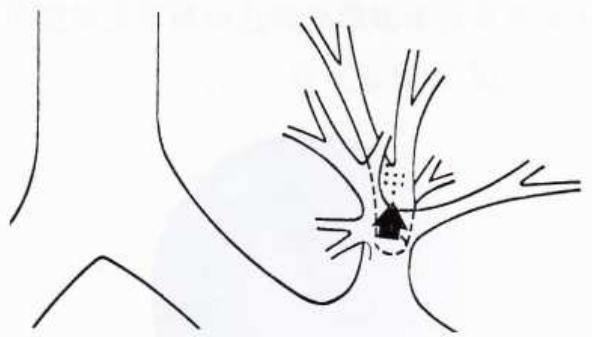
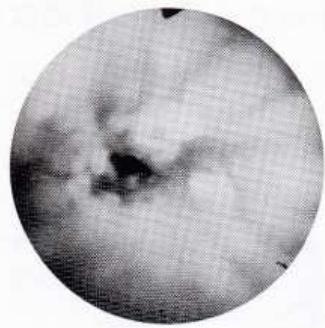




50

### スライド 50

スライド 49 と同症例。縦走襞の肥大化と断裂、白色顆粒結節も多数みられる。

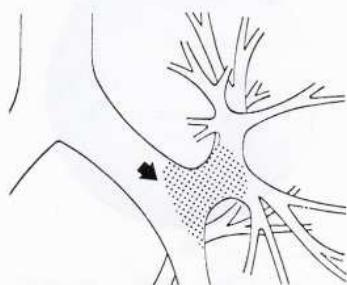


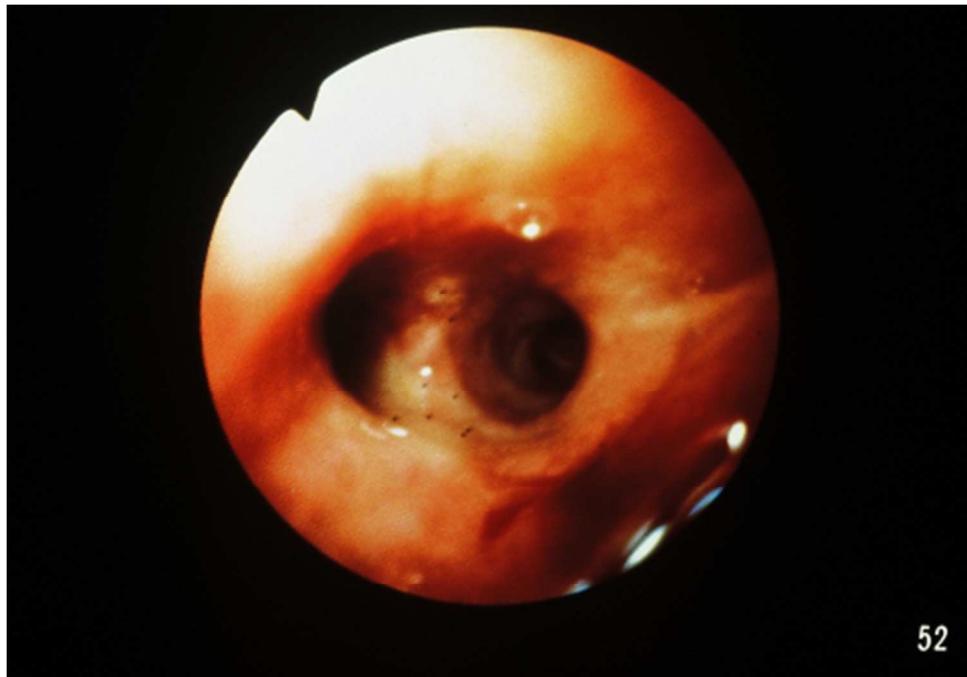


51

スライド 51 75 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、55 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左上葉支に発生し、中枢側へは主気管へ、末梢側へは下葉支分岐部を越えてわずかに下葉支へ、浸潤がみられる。この所見では、正常部分は、膜様側から内側壁である。縦走襞の肥大がみられる。扁平上皮癌。上葉支粘膜は肥厚し、上葉支の狭小がみられる。上・下分岐は粘膜下出血がみられる。（スライド 15 と対比）

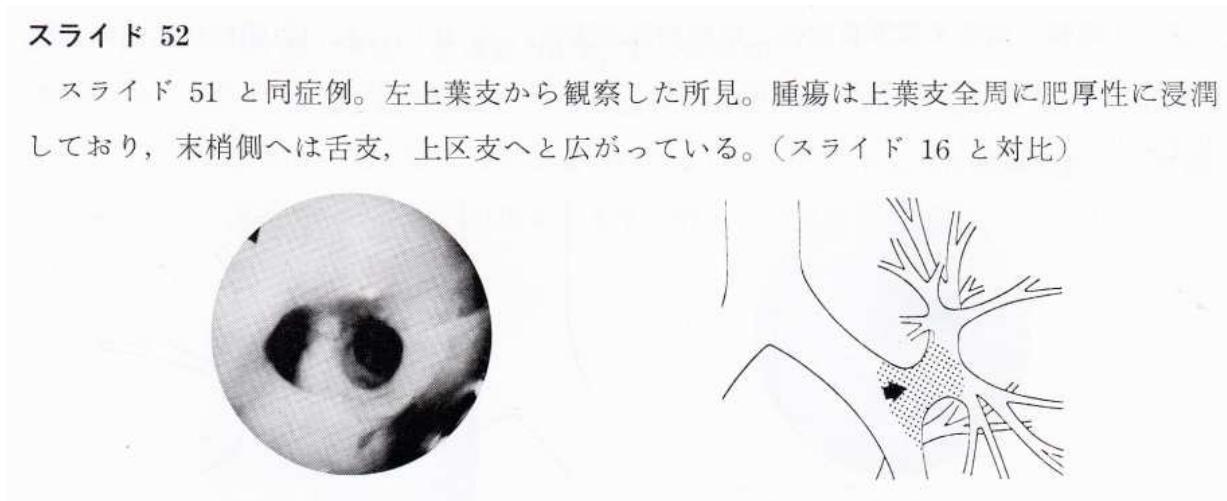


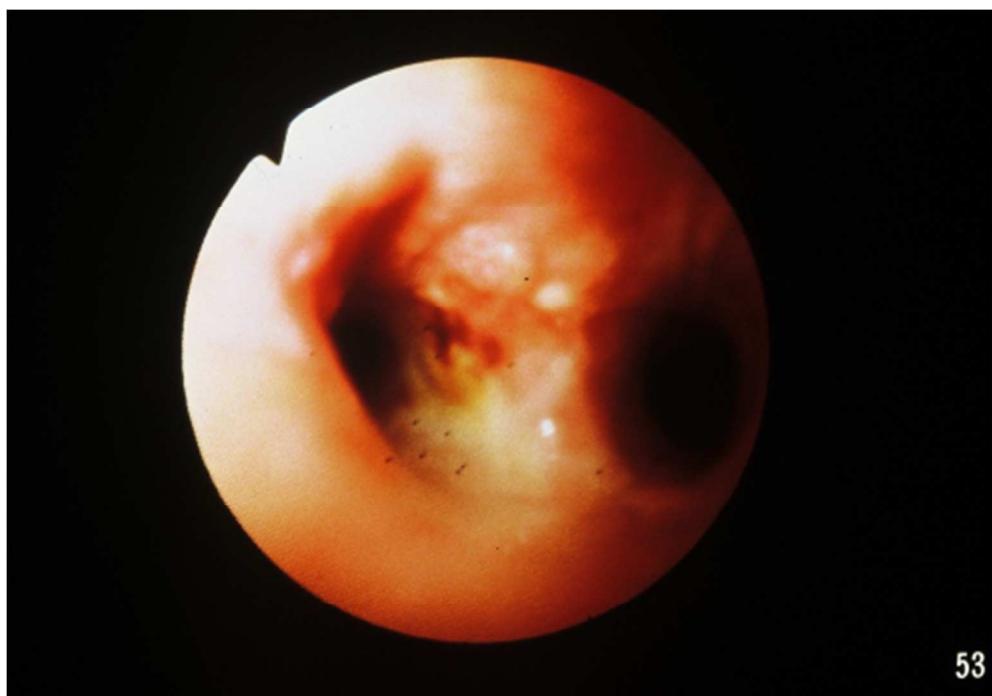


52

### スライド 52

スライド 51 と同症例。左上葉支から観察した所見。腫瘍は上葉支全周に肥厚性に浸潤しており、末梢側へは舌支、上区支へと広がっている。(スライド 16 と対比)

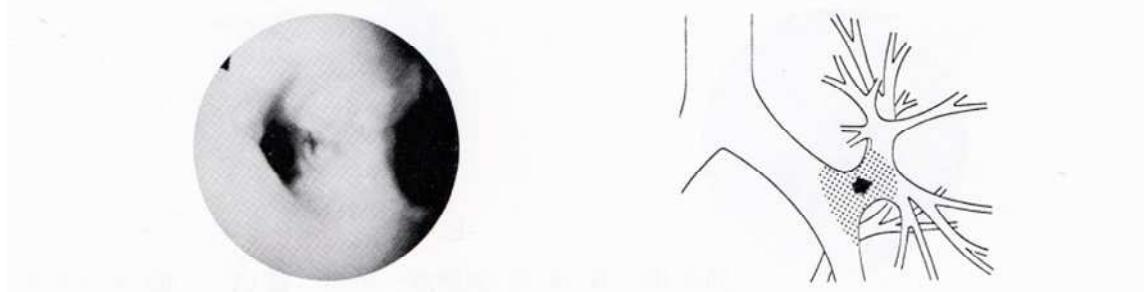


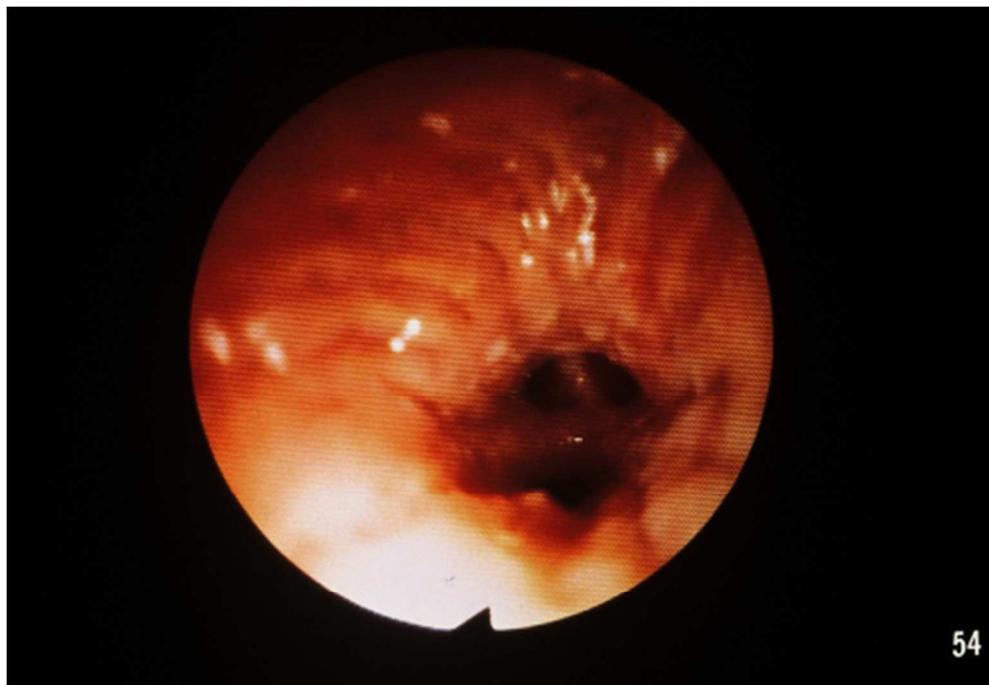


53

### スライド 53

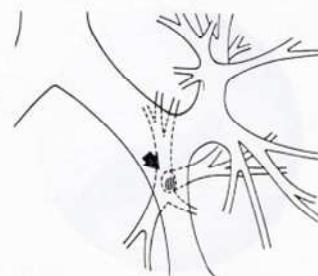
スライド 51, 52 と同症例。左上葉支内からの観察所見である。舌支と上区支との分岐部には、肥厚所見、不整、出血巣に加え、結節状隆起腫瘍がみられる。（スライド 16 と対比）





スライド 54 65 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、45 年間。

症状：喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左 B<sup>6</sup> に限局している。顆粒状結節が複数みられ、縦走襞は中断し、肥大がみられる。粘膜は不整で亜区域支分岐への浸潤（肥厚）もみられる。扁平上皮癌。（スライド 20 と対比）

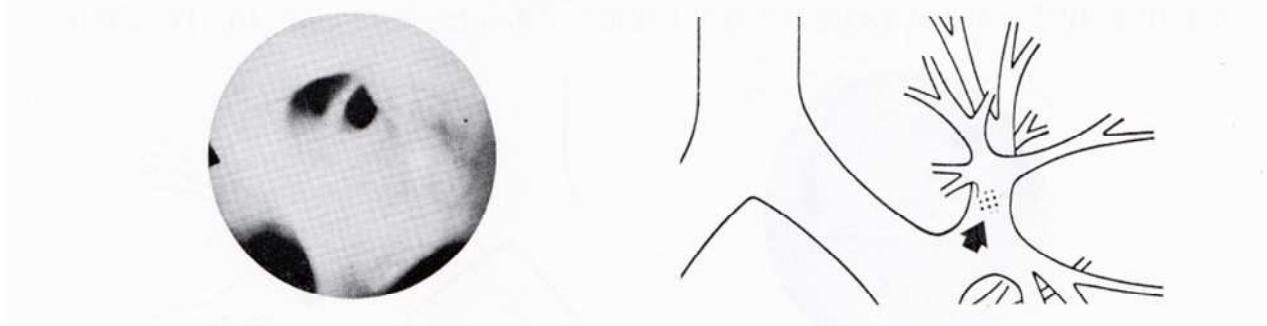




55

スライド 55 65 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、40 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左 B<sup>3</sup> 入口部に白色・隆起性にみられる。扁平上皮癌。分岐型は3分岐型である。（スライド 17 と対比）

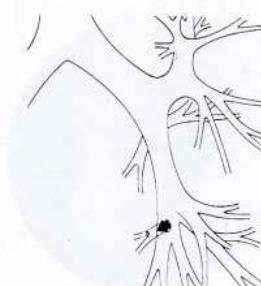
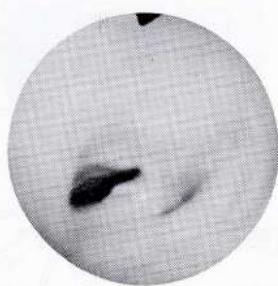




56

スライド 56 76 歳、男性、喫煙歴なし。

症状：血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左  $B^{10}_{\text{ai}}$  の分岐部に発生した腫瘍（扁平上皮癌）である。分岐部粘膜は肥厚し、i から出血がみられる。（スライド 22 と対比）

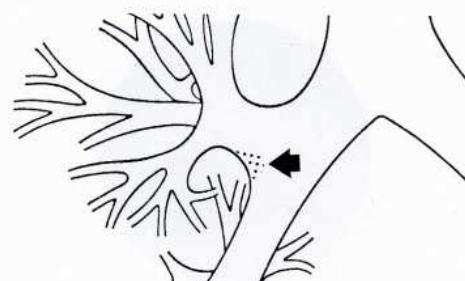
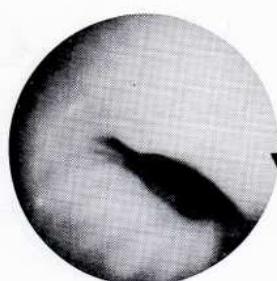




57

スライド 57 70 歳、男性、喫煙歴 10 本/日、50 年間。

症状：咳。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右上葉支入口部前壁の小隆起性腫瘍である。前壁粘膜が肥厚し、上葉支の狭小がみられる。膜様側は縦走襞が明瞭に観察される。平上皮扁癌。（スライド7と対比）

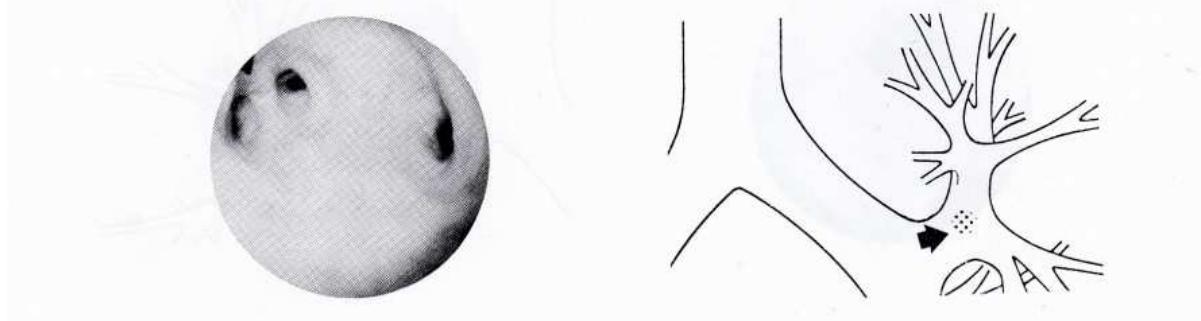




58

スライド 58 65 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、45 年間。

症状：喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左上葉支の膜様側に粘膜膨隆としてみられる。扁平上皮癌。上区支と舌支との分岐部の膜様側まで浸潤がみられる。上区支 B<sup>3</sup> と B<sup>1+2</sup> との分岐部の肥厚は扁平上皮化生であった。（スライド 16, 17 と対比）

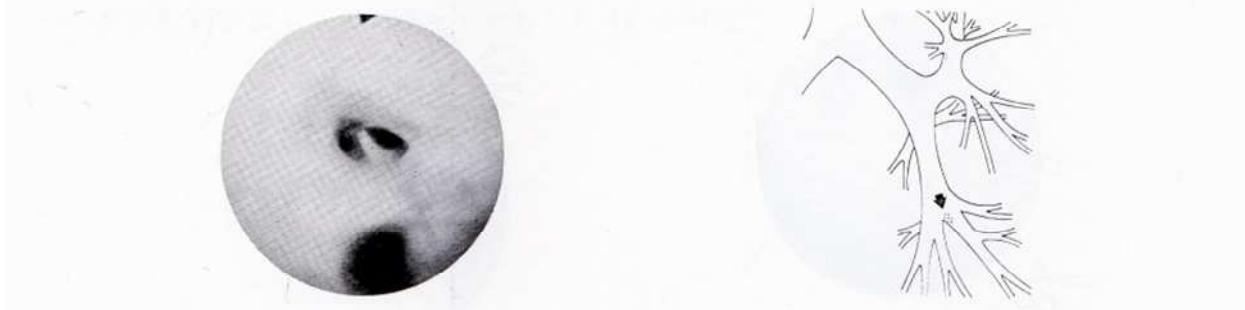




59

スライド 59 65 歳、男性、喫煙歴なし。

症状：呼吸困難、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左 B<sup>9</sup> と B<sup>10</sup> の分岐部内側の発赤、肥厚不整粘膜部分である。扁平上皮癌。（スライド 21 と対比）

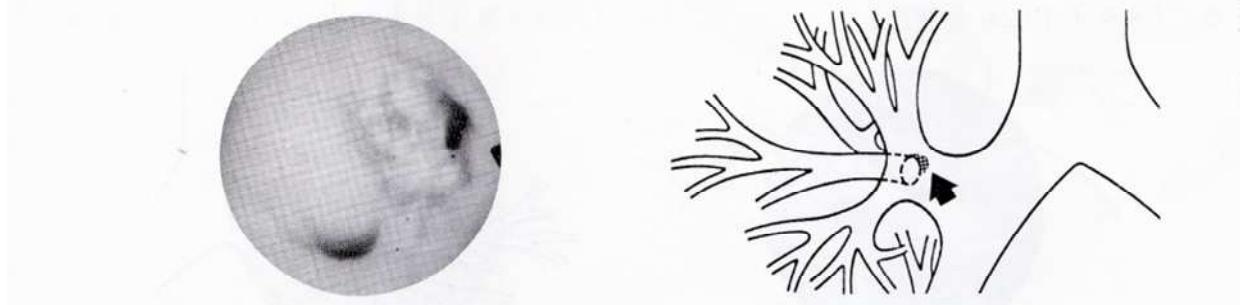


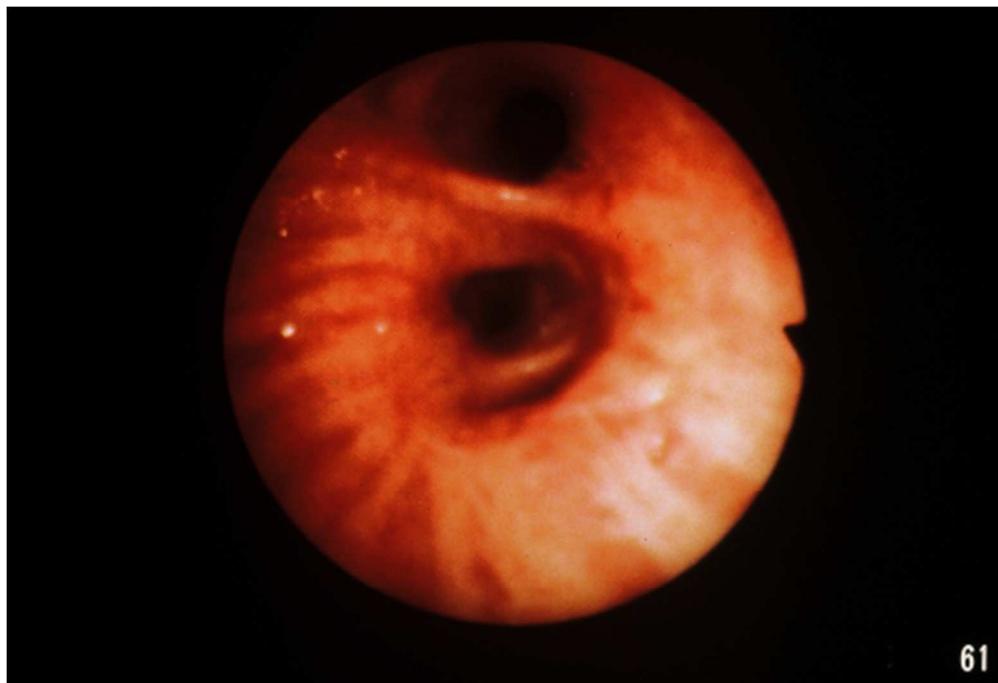


60

スライド 60 70 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、50 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陰性。病巣は右上葉支  $B^1$  と  $B^2$  との分岐部に限局している。発赤、粘膜は不整肥厚を示す。扁平上皮癌。（スライド 6, 7 と対比）

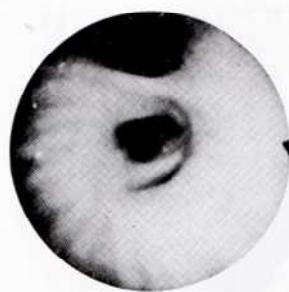




61

スライド 61 54 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、34 年間。

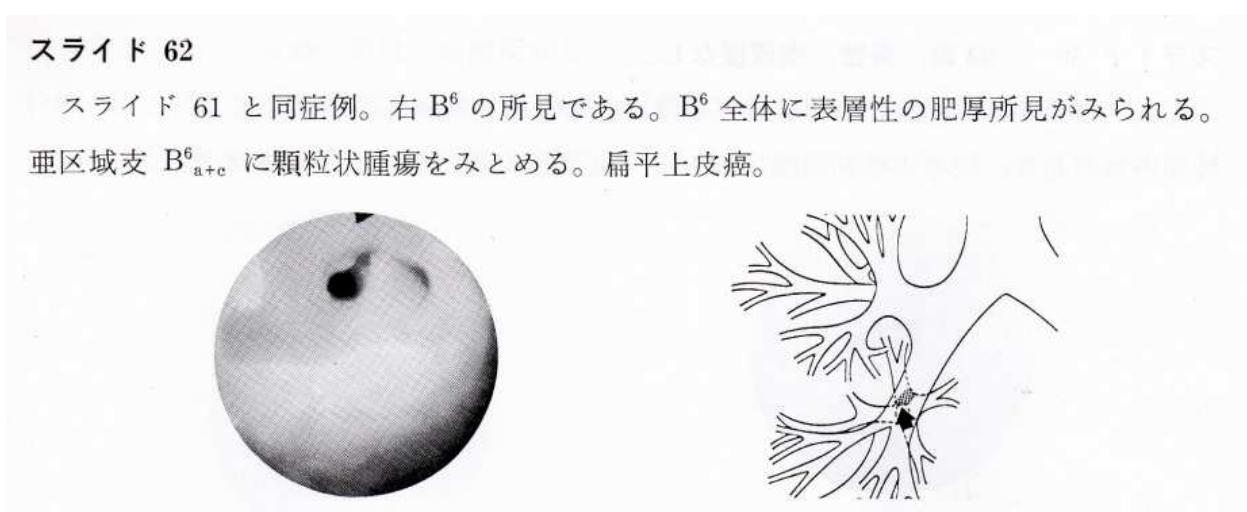
症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右中間幹の B<sup>6</sup> 分岐部手前膜様側に観察されるが、この病巣は B<sup>6</sup> からの浸潤巣であった。白色にわずかに膨隆した病巣である。扁平上皮癌。（スライド 8 と対比）





### スライド 62

スライド 61 と同症例。右 B<sup>6</sup> の所見である。B<sup>6</sup> 全体に表層性の肥厚所見がみられる。  
亜区域支 B<sup>6</sup><sub>a+c</sub> に顆粒状腫瘍をみとめる。扁平上皮癌。

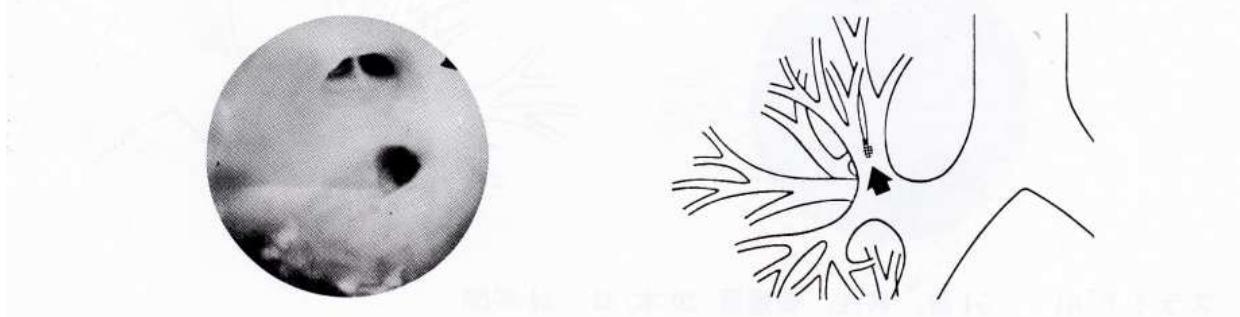




63

スライド 63 70 歳、男性、喫煙歴 30 本/日、40 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。右上葉支  $B^1_a$  と  $B^1_b$  の分岐部が不整肥厚を呈し、 $a$  内の縦走襞の消失から  $a$  の全体の浸潤が疑われる。扁平上皮癌である。 $b$  は、軟骨輪が明瞭であり、亜区域分岐部が鋭角であることから正常であると判断できる。(スライド 24 と対比)

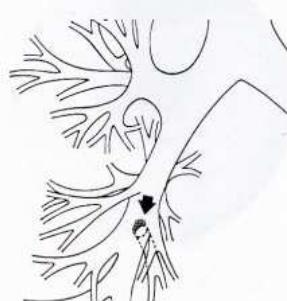
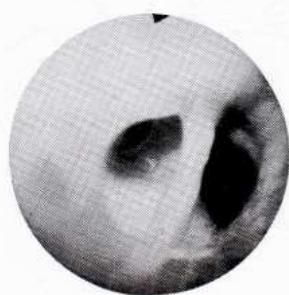


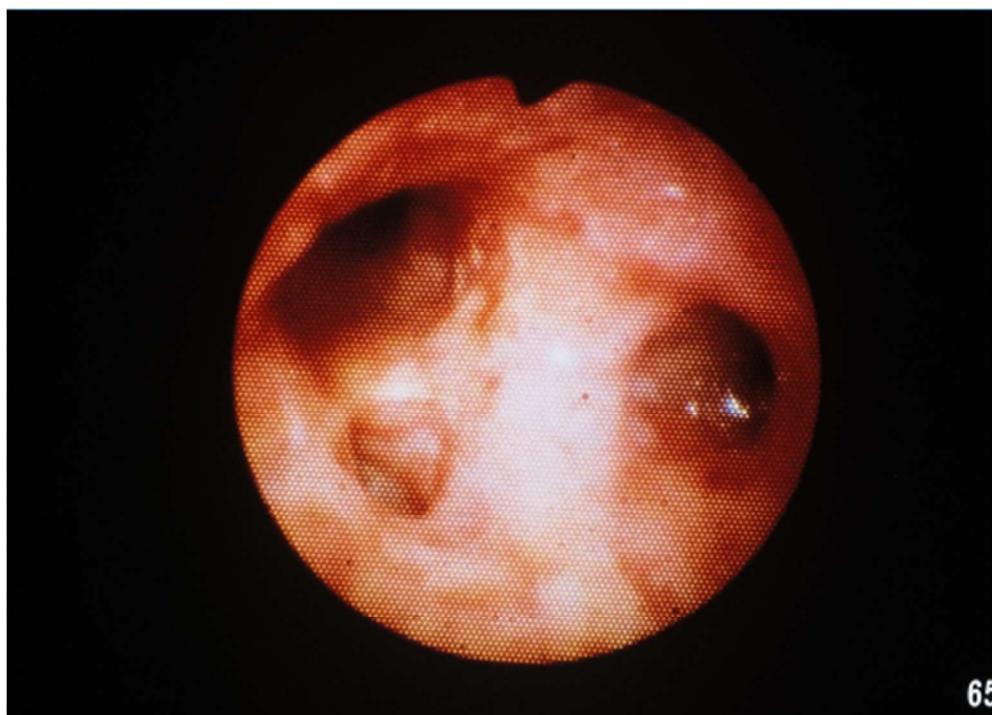


64

スライド 64 58 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、38 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。右 B<sup>7</sup> の分岐部の肥厚性病変。扁平上皮癌。分岐部は不整な肥厚がみられ、B<sup>7</sup> 内へ一部浸潤を示す。浸潤部位では縦走襞は断裂している。(スライド 11 と対比)

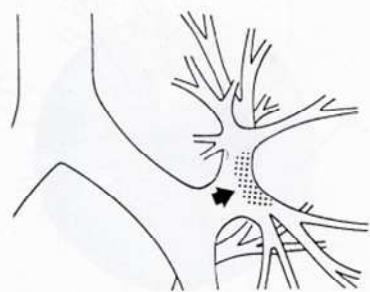
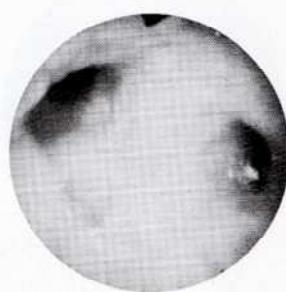


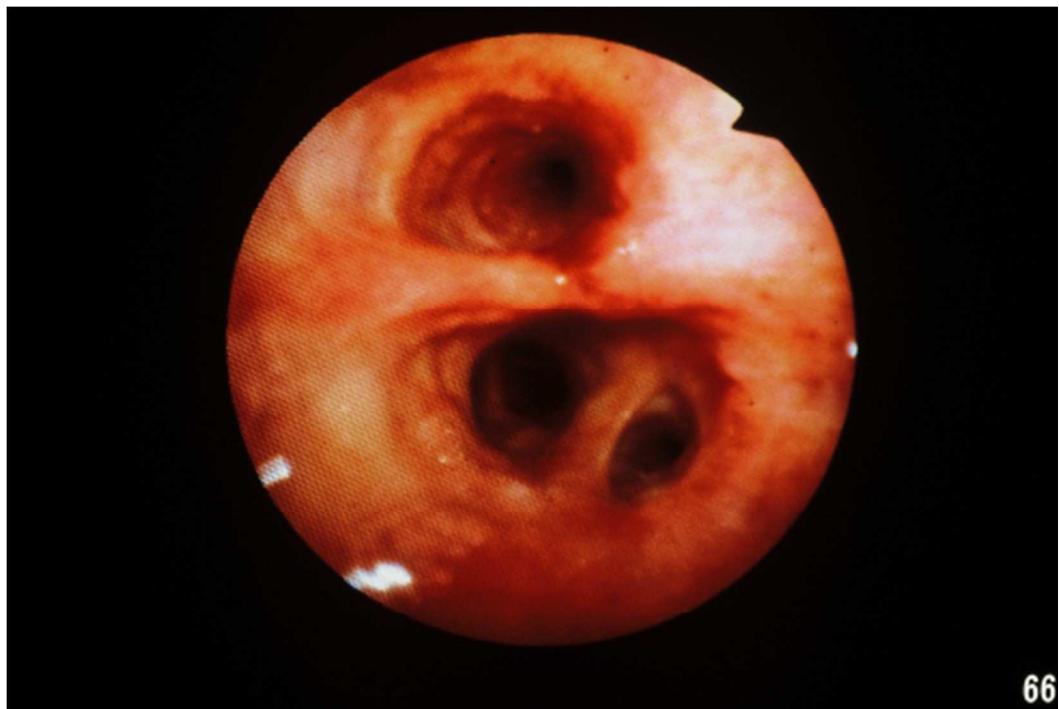


65

スライド 65 50 歳、男性、喫煙歴 40 本/日、30 年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。左上葉支の上区支と舌支との分岐部に発生した表層進展性の扁平上皮癌。この分岐部の不整肥厚、開大と、上区支、舌支への連続性の浸潤もみられる。(スライド 16 と対比)

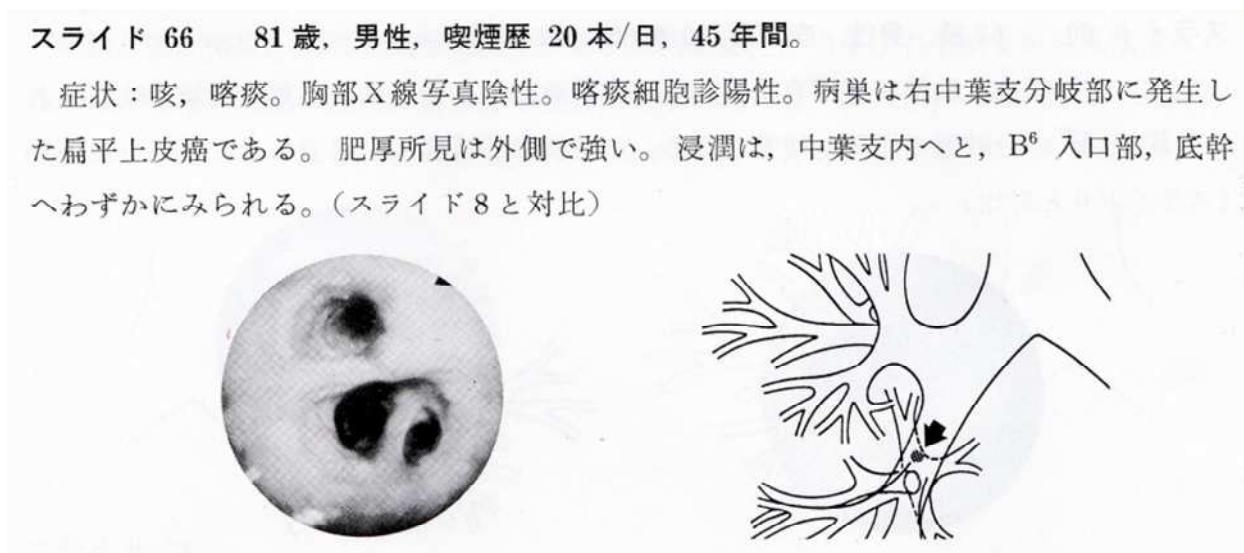




66

スライド 66 81歳、男性、喫煙歴 20本/日、45年間。

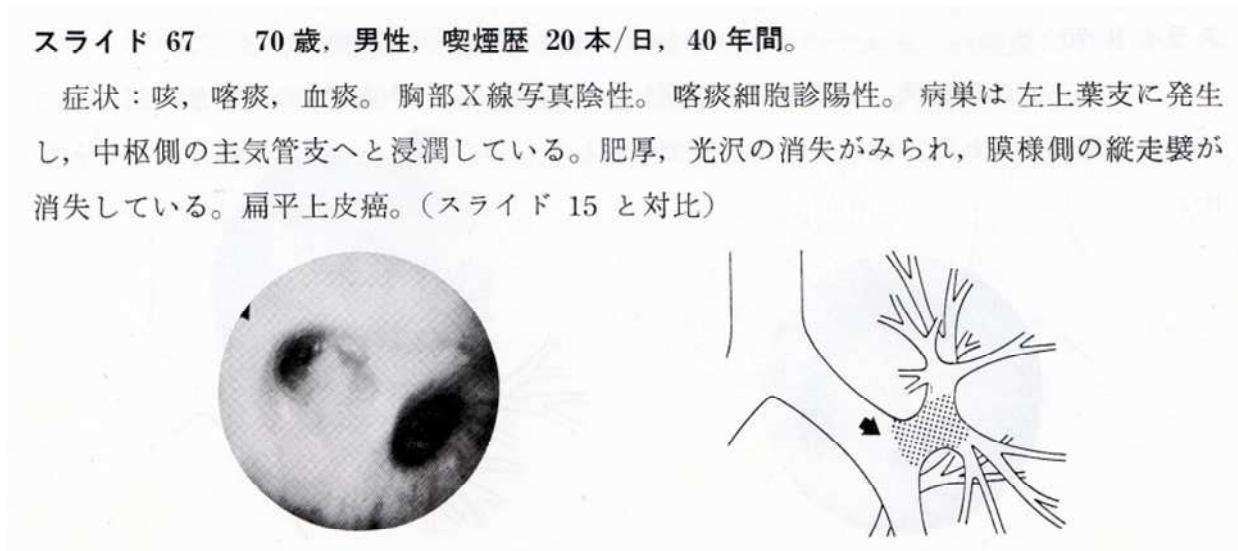
症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右中葉支分岐部に発生した扁平上皮癌である。肥厚所見は外側で強い。浸潤は、中葉支内へと、B<sup>6</sup>入口部、底幹へわずかにみられる。(スライド8と対比)





スライド 67 70 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、40 年間。

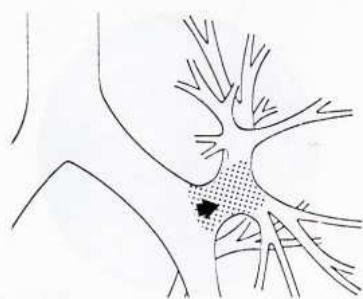
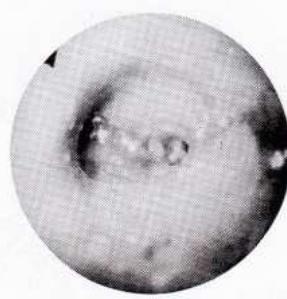
症状：咳、喀痰、血痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は左上葉支に発生し、中枢側の主気管支へと浸潤している。肥厚、光沢の消失がみられ、膜様側の縦走襞が消失している。扁平上皮癌。(スライド 15 と対比)





### スライド 68

スライド 67 と同症例。左上葉支内で観察した所見である。上葉支は全周浸潤のために襞の消失がみられ、易出血性。光沢の消失がみられる。上区支と舌支の分岐部は開大肥厚し、浸潤は舌支、上区支の末梢へと広がっている。扁平上皮癌。(スライド 16 と対比)

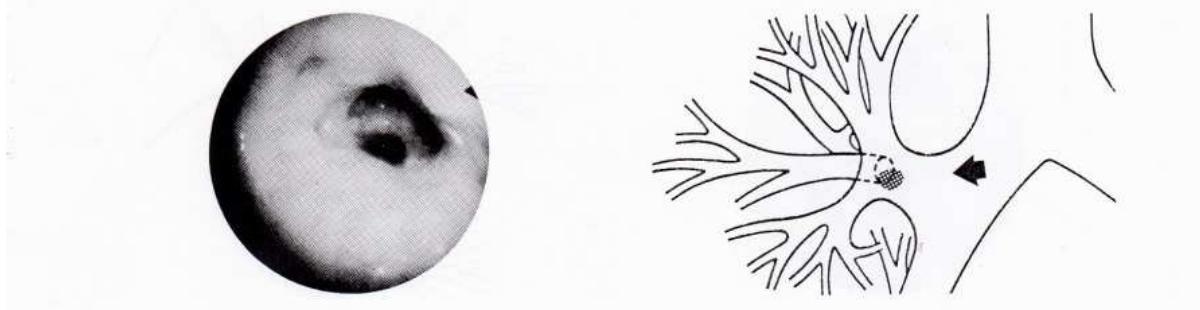




69

スライド 69 62歳、男性、喫煙歴 10本/日、42年間。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右上葉支区域分岐部である。 $B^3$ と $B^2$ の分岐部の肥厚が観察される。上葉支の粘膜襞は正常である。扁平上皮癌。  
(スライド6と対比)

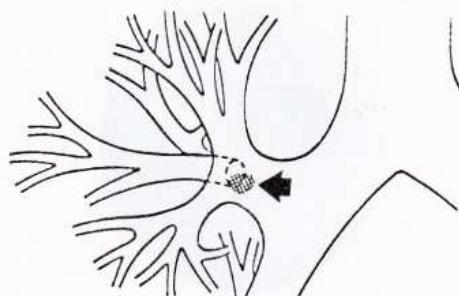
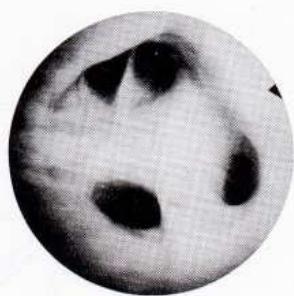


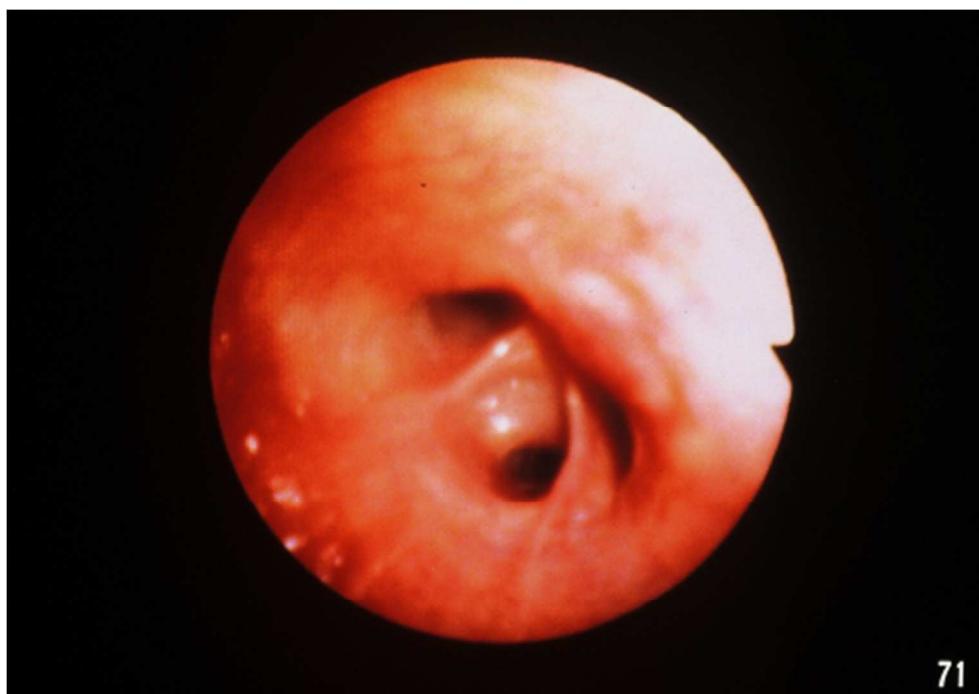


70

## スライド 70

スライド 69 と同症例。上葉支内で観察した所見である。B<sup>3</sup> と B<sup>2</sup> の分岐部が開大し、粘膜の肥厚がみられる。襞は分岐部手前で中断している。扁平上皮癌。（スライド 6 と対比）

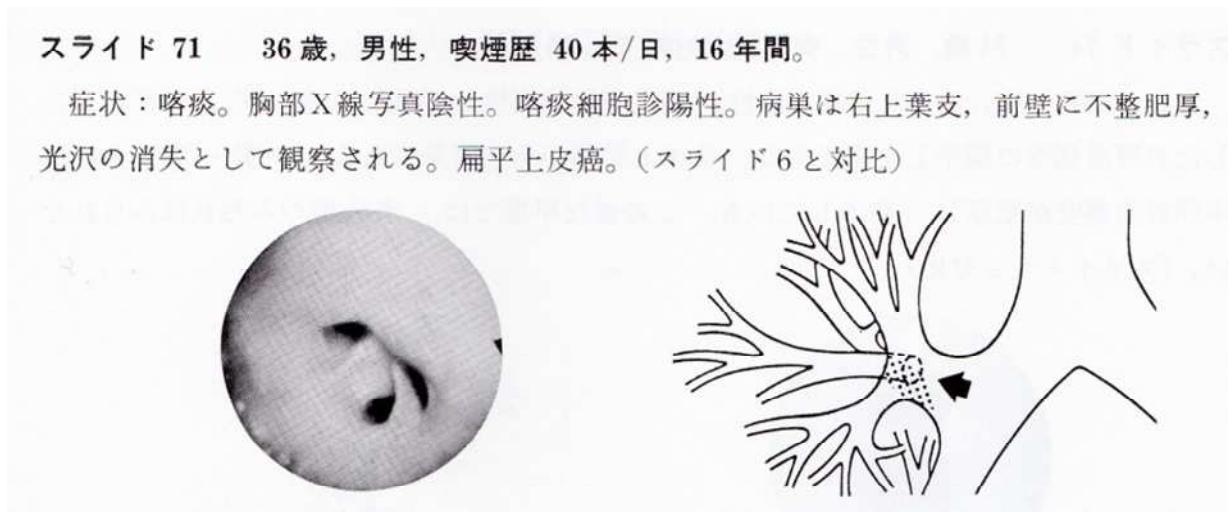




71

スライド 71 36 歳、男性、喫煙歴 40 本/日、16 年間。

症状：喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右上葉支、前壁に不整肥厚、光沢の消失として観察される。扁平上皮癌。（スライド6と対比）

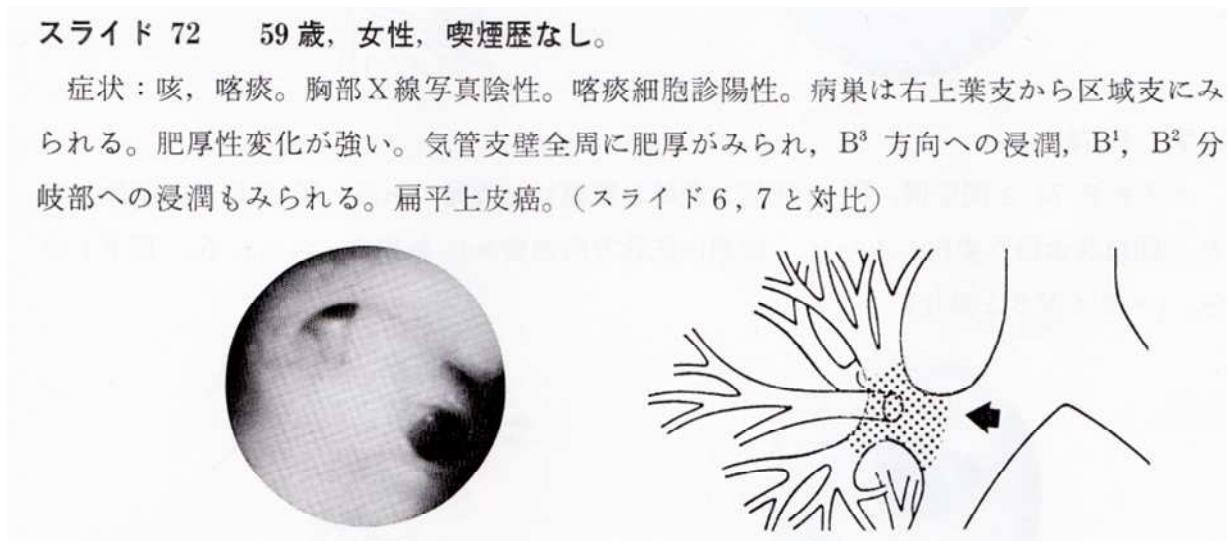




72

スライド 72 59歳、女性、喫煙歴なし。

症状：咳、喀痰。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は右上葉支から区域支にみられる。肥厚性変化が強い。気管支壁全周に肥厚がみられ、B<sup>3</sup> 方向への浸潤、B<sup>1</sup>、B<sup>2</sup> 分岐部への浸潤もみられる。扁平上皮癌。（スライド 6, 7 と対比）

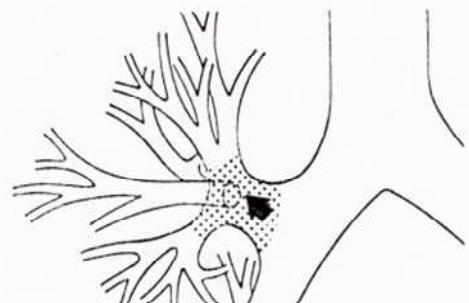




73

### スライド 73

スライド 72 と同症例。B<sup>1</sup> と B<sup>2</sup> の分岐部を観察したるものである。分岐部は肥厚開大しているが、B<sup>2</sup> 内の粘膜は正常である。扁平上皮癌。（スライド 6, 7 と対比）

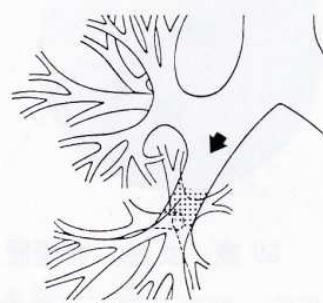
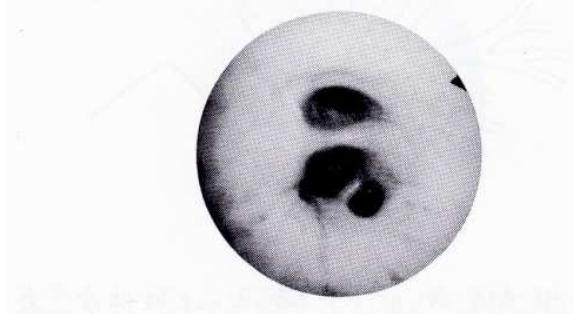




74

スライド 74 74 歳、男性、喫煙歴 20 本/日、45 年間。

症状：喀痰、咳。胸部X線写真陰性。喀痰細胞診陽性。病巣は中葉・B<sup>6</sup>入口部に発生した表層浸潤性の扁平上皮癌である。発赤と肥厚がその所見である。中葉・B<sup>6</sup>の分岐部中間幹内側壁が肥厚し、発赤している。この様な早期では、未だ襞のみだれはみられない。（スライド8と対比）





75

### スライド 75

スライド 74 と同症例。B<sup>6</sup> 分岐部と底幹を観察した所見である。B<sup>6</sup> 分岐部は肥厚、発赤、顆粒状水腫性変化がみられ、浸潤は底幹方向前壁から外側壁へみられる。扁平上皮癌。(スライド 8 と対比)

